



第
2530
地区

福島西ロータリークラブ会報

ロータリーは
機会の扉を開く

令和2年10月19日(月) 第12回 通算第1576回例会

会長 黒澤 信之
幹事 佐藤 慶行

クラブ奉仕委員会
委員長

高橋 智弘

会報・雑誌・広報・
IT小委員会委員長

根本 いずみ

・例会日/月曜日12:30 ・例会場/ウェディング エルティ ☎(024)535-6188

事務所/福島市万世町2-5 福島銀行本店9F ☎(024)536-1010・FAX(024)536-1011 Eメール/f-rotary@guitar.ocn.ne.jp

第12回例会 点鐘12:30

- ◇開会点鐘 黒澤 信之 会長
- ◇ロータリーソング「それでこそロータリー」
ソングリーダー 高橋 智弘 会員
- ◇お客様並びにビジター紹介
- ◇会長あいさつ 黒澤 信之 会長



日に日に深まりゆく秋の気配を肌で感じる今日この頃ですが、いかがお過ごしでしょうか。先週末、市内で30例目となる新規コロナウイルスの感染報告という私たち福島市民にとっては非常にショックなニュースがありました。8月31日を最後に新規感染報告がなかったため1か月半ぶりということですので。お隣の郡山市で著しい増加傾向があることを鑑みれば今までなかったことのほうが不思議に感じられもしますが、どこか他人事で福島市は大丈夫、うちらは大丈夫と慢心していた部分もあったように思います。会員の皆様にも改めて感染予防の徹底をお願いしたいと思います。

例会での会長挨拶の際は、マスクを外してお話ししておりましたが、毎回のことですから口角泡を飛ばしての挨拶もいかがなものかと思案しておりました。今日は梅津会員の新会員スピーチにちなんでというわけではございませんが、小物ネタを持ってまいりましたので、少々、支度をさせていただきます。

飛沫予防のヘッドセットマスクであります。通称かどうかわかりませんが、麻生大臣が装着しているところから、麻生マスクと呼ばれているようで、検索すると出てきます。1個3000円ほどで購入することができます。どれほどの予防効果があるかはクエスチョンですが、意識づけのパフォーマンス程度



にはなるかなと思いますので、しばらくはこのスタイルで挨拶に臨みたいと思います。

さて、10月24日は、正面にも掲示させていただいておりますように、世界ポリオデーとなっております。今日はポリオについて考えてみたいと思いますが、そもそもポリオとは一体何か。ベテランの皆様にはとんだ愚問ですが改めて紹介させていただきます。(資料参照)

8月25日、WHOからアフリカ地区での野生型ポリオ根絶が発表されたことは例会でもお伝えしましたが、東地中海地域に含まれるアフガニスタンとパキスタンでは、現在も野生型ウイルスによるポリオの感染が続いています。今年も会員の皆様からも一人30ドルの寄付をいただいておりますが、今まさにエンドポリオの歴史を作るカウントダウンの時期ですのでご理解とご協力をお願いしたいと存じます。

本日のプログラムは、梅津^{かずまさ}一匡^{かずまさ}会員により、新会員スピーチであります。どんな話が飛び出すかに胸躍らせて会長挨拶とさせていただきます。

◇幹事報告 佐藤 慶行 幹事

○例会変更のお知らせ

・当クラブ次週26日(月)の例会は、新会員歓迎夜間例会となっております。午後6時30分よりエルティにて開催となりますのでよろしくお願ひいたします。

・福島RC、22日(木)の例会は、18日(日)創立70周年記念事業「ジュディ・オング氏講演会」に振替29日(木)の例会は、理事会承認休会となります。

・福島北RC20日(火)の例会は、夜間例会となっております。精華苑にて午後6時開会となっております。

・福島東RC23日(金)の例会は、理事会承認休会となります。

以上お知らせ致します。

○その他のお知らせ

・10月ロータリーレートは1ドル105円となりますのでお知らせ致します。

委員会報告

◇出席・スマイリングBOX小委員会 高橋 智弘 委員長

○黒澤信之会長＝今日は梅津会員による新会員スピーチ、大変楽しみにしております。宜しくお願ひ致します。

○梅津^{かずまさ}一匡^{かずまさ}会員＝食後のひととき、しばしおつきあい下さい。

○宮崎秀剛会員＝本日の梅津さんのスピーチ、楽し

みにしております。

——新会員スピーチによせて——

- 佐藤慶行会員 ○相澤 隆会員 ○大平謹一郎会員
○久米允彦会員 ○齋藤武二会員 ○佐藤宗弘会員
○寺島秀樹会員 ○野尻榮一会員 ○高橋智弘会員

本日のスマイリングBOX集計12件 24,000円
ご協力頂きました皆さん、ありがとうございました。

◇本日のプログラム——新会員スピーチ
福島市議会議員 梅津一匡会員



本日は新会員スピーチの機会を頂き、誠にありがとうございます。

スピーチの機会を頂戴するのは、本日で多くの皆様ご承知の通り、2回目でございます。今年の2月15日に、ここエルティさんを会場とし、県北第一分区の新会員オリエンテーションがございました。福島西ロータリーより先に、そのような機会を頂いたわけですから当然テンパります。一体当日何をしゃべったのか、パソコンに入っていたはずの原稿はどこに行ったのかなど、記憶と記録の面で抹消されておりますので、話が重複するかもしれません事をご了承いただき、そして本日は極力横文字を使わないようにしたいと思いますので、暫しの間、どうかお付き合いください。

改めまして「う」めつかずまさでございます。早速1枚目のパネルです。梅津の「う」、日本ロータリーの父、米山梅吉氏の「う」です。余談ではありますが、専門学校生の当時、一部から梅吉と呼ばれておりました、恐れ多い事ではありますが、妙な親近感を感じている次第でございます。

先月の宮崎さんから新会員スピーチのバトンを受けましたので、私もユニフォームを持参いたしました。



そもそも私が決定的にカーブファンになったのは、小学生の頃、1986年の史上初の第8戦、西武ライオンズに3勝4敗1分で敗退した試合を見た時でした。長年にわたり4番を務めてきたミスター赤ヘル山本浩二選手が人目をはばからず号泣し、ナインが胴上げをするという姿を見た時には、幼心にしびれました。当時他球団には巨人のクロマティ選手のよ

うに個性的な外国人選手が所属し活躍しておりましたが、「純国産打線」のカーブ。地獄とまで称される練習量の豊富さで、貧乏球団ながら人づくりで戦力としていく育成力。そして浩二選手の男泣き。好きにならない理由がない状況だったのかなど、改めて思います。

宮崎さんのスピーチでもありましたが、あづま球場にプロ野球が来ていました。年に1試合カーブが必ず試合に来ていて、試合後に定宿である今のセレクトホテルの前で、飲みに出る選手の出待ちをしたりしていました。試合の翌日も、駅の入り口でカーブの帽子をかぶり選手待ちをしていると、大野豊選手が通り、快くサインをしてもらいながら私に「坊主、野球やるのか？」と聞かれたようですが、興奮して「は、は、は、は、は、はい」と返事にならない返事をしてしまった事がありました。そして昨年、そのリベンジとばかりに、大野豊さんと写真を撮らせていただきました。



話はカーブ愛に逸れましたが、本題に戻りまして私は、1976年(昭和51年)4月17日生まれの今年44歳になります。後ほどの話しにもかかわってきますが、母は私が3歳の頃に離婚しました。

母は離婚後しばらくして、ここエルティさんの斜め向かいにありますがカトリック教会で家政婦として働きました。住み込みでしたので私も18歳になるまで教会の敷地内で育ちました。

小学4年、9歳の頃でしょうか。母から「あんたも何か手伝いをしなさい。教会の朝の開門と近所の掃除をしなさい」というような事を言われ、日曜日以外毎朝6時2・30分頃から7時すぎまで、敷地周辺の道路の掃除や冬場は雪かきを1人でしておりました。

中学生になっても続けていました。そして14歳の頃です。いつものように掃除をしていると声をかけられました。「毎日掃除をやっているね。何年くらいやっているの?」というような会話でした。

いろいろとお話をした後日、福島市の小さな善行表彰の対象者に推薦され表彰を受けました。今思えば、民生委員の方だったのかな?などと思いますが、続いて県の善行表彰。果ては東京・明治神宮の会館で総務大臣表彰を受けるなど、あれよあれよと表彰街道まっしぐら。県の受賞の前の段階でしょうか。どのクラブかは確認していませんが、ロータリーからも表彰をいただいたように記憶しております。今は仙台に住む母のところにありますので、今度確認

してみたいと思います。

さて、周りの大人たちから褒め称えられた一^{かずまさ}匡少年。ここで大きな勘違いをしてしまいます。2つ目の文字は「難」です。

人間あまりにも持ち上げられると、つい考えにも甘さや隙が生まれてしまいます。いわゆる「おだつ」というやつです。その典型的な例をご紹介します。

様々な表彰をされ、内申点は急上昇しているのではないか。ひょっとしたらという気持ちが芽生え、高校受験に対し隙が生じます。その頃の私の夢は大工さんになる事でした。学校の3者面談でも、福島工業高校・建築科の推薦をいただき、大丈夫だろうと担任の先生のお墨付きも頂戴し、臨んだ推薦入試見事に不合格でした。

発表当日、担任の先生は出張でお休みでしたが、自宅にわざわざお電話をくださり、電話口で「こんな結果になるとは…」と、ものすごく謝られた事を覚えています。先生の優しさがとても身に沁みましたが、自分の甘さが招いた結果です。結果を出せなかった自分がより情けなく思えました。すぐに切り替えはできませんでしたが一般入試で合格し、何とか一つ目のしくじり・つまずきからは立て直す・立ち直す事が出来ました。

2つ目の壁は就職活動です。高校を卒業し、仙台の専門学校に進み、卒業を迎える年の事です。当時、バブル経済は破綻し大変な就職難。いわゆる就職氷河期の時代です。現在も新型コロナウイルス感染症により、新規採用が困難な状態が少なくはありません。私以上の就職氷河期が訪れるのではと捉えておりますが、私の頃もひどい状態でした。

私は福島に戻りたいという思いがあり、福島市の就職を希望しておりました。学校の進路対策課では秋には福島の求人も出てくるからとの事で、卒業制作などに勤んでおりました。そして冬の季節。一向に求人は増えません。これはまずいと思い、県工の先生を尋ねに年明け早々に母校へと行きました。

するとどうでしょう。厚さ7・8センチはあるのかという求人票の束が数冊。「好きなものを選べ」と言われ、また、「今年の卒業生はもう進路全員決まっているから」とも。驚愕でした。職業高校ならではのブランド力と卒業された先輩方の後輩たちを思いやる力で、不況下でも求人を確保できているのだと感じました。

何とか私も当時志望していた設計の職に就く事はできましたが、専門学校の同級生の多くは卒業後新年度を迎えてから何とか就職決定という状況であった事からも、母校と先輩方のありがたさを感じた出来事でした。

次の困難は最初の就職から、職歴など紆余曲折を経てからの20代後半の事です。最初に勤めた会社の先輩の独立の時に、私も共に働く事としました。私も家庭を築き、長男が生まれたか生まれなにかの頃の出来事です。先輩とは、金持ちとは言えなくと

も、暮らせる程度の仕事なら建築現場を回せるだろうという趣旨の話をした記憶がありますが、その後一転。拡大路線をとり新規事業の失敗により、負債が残り自転車操業状態。支払いの迫る大口の建材屋さんには罵られ、謝り続け何とか猶予をいただき、先輩と2人約2年間給料なしで現場をこなしやっとの事で目途を立てることが出来ました。当然、家庭でも給料はないのかとせつつかれましたが、連れ合いの寛大な心で許してもらいました。

あまり自分の失敗談ばかりしていてもしょうがないので、次の文字を出させていただきます。3つ目の文字は「有」です。

同年代と比べ、失敗をする事が多い人生を過ごしてまいりましたが、今は、日々有意義な充実した時を過ごさせていただいていると感じます。黒澤会長からのご推挙もあり、現在は地元の岳陽中学校でPTA会長を担わせていただいております。昨年までは5年間、三河台小学校で会長を務めさせていただきました。自分の母校で、まさかPTA会長を務めるなどとは夢にも思いませんでした。地元という事もあり、新年度を迎える度に、同級生のお子さんが入学するなどの出会い・再会があり、子どもの頃はそれほど話をした事ない同級生からも声をかけられるなどしながら、その都度仲間づくりをし、活動に厚みを持つ事が出来ております。また、黒澤兄貴に象徴されるように、同級生のご兄弟とも親交・親睦を深めることが出来、助けていただく事が多々あります。

「PTAは究極のボランティアだ」と話された先輩会長もいらっしゃいました。自分の子どもだけではなく、地域の子どもたちの事を考えるという事からも、その言葉の意味がよく分かります。これまで、多くの仲間・先輩たちとの話し合いの中で、課題解決策や対応を図ってまいりました。

以前の廣澤俊樹ガバナー補佐クラブ訪問例会のスピーチの際、ロータリーの使命を分かりやすくすると「地域社会と共に、自分以外の誰かの為に活動し、平和を推進すること」というお言葉がありました。PTAの活動にも通ずるものがございます。また、福島市、地域・地元の発展を担う仕事をさせていただいておりますので、四つのテストにある「真実かどうか」「みんなに公平か」「好意と友情を深めるか」「みんなのためになるかどうか」この4つの問いは、職務上も大変重要であります。メンターという横文字は苦手ですので、宗弘兄貴、黒澤兄貴・諸先輩方にご指導をいただきながら、ロータリー道を突き進む所存でございます。

幼少の頃からの話をさせていただきましたが、どんな状況・どんな時でも助けてくれる人がいました。人間ひとりでは生きていく事はできません。今までお示しをしました文字を入れ替えますと「有難う」という文字となります。常にありがとうの感謝の思いを持ちながら、皆様に恩返しをしてまいります。そして、本日はご清聴ありがとうございました。



◇福島ロータリークラブ70周年記念事業
～ジュディ・オング氏講演会～
福島ロータリークラブ第13回例会 出席報告

○日 時／2020年10月18日(日)
15:00～16:45

○場 所／ウェディングエルティ

○出席者／高橋智弘会長エレクト・佐藤慶行幹事
佐藤宗弘会員

コロナ禍の状況下、新しい生活様式を实践され、約150名の出席者のもと開催されました。

【要旨】

渡辺健寿実行委員長より

○創立70周年記念事業について

- ・教育支援事業：県立図書館へ図書寄贈、市教育委員会へ運動用具寄贈、フィリピン小学校へ学習用具寄贈
- ・記念植樹事業：モニワザクラの苗木を寄贈・植樹（ふくしま植樹祭、福島競馬場、信夫山おみさか花広場）
- ・ポリオ根絶支援事業：国際ロータリーポリオ根大使 ジュディ・オング氏講演会

◇創立70周年記念大会

○日 時／2021年3月27日(土)15:00

○場 所／ウェディングエルティ

ジュディ・オング氏講演会 テーマ「輝いて生きる」
歌手・女優として活躍する一方、木版画家としても才能を発揮し活動されているジュディ・オングさんは、発展途上国の子どもたちへの支援等ボランティア活動にも積極的に関わっており、その活動のすべてがジュディ・オングさんのポジティブな生き方に繋がり、版画を始めた25歳の好奇心を今も忘れず挑戦し続けていらっやいます。

ジュディ・オングさんはとても美しく輝いていて、私たちに元気と勇気をくださいました。

ご自身の活動を基に次から次へとテンポ良く、時には身振り手振りを交え、会場の皆さんを巻き込み、一体感のある素晴らしい講演でお人柄を身近に感じることができ、感動しました。

ジュディ・オングさんの好きな言葉

餐餐七分飽 事事対人好 為善最快楽 健康活到老
(中国詩人 劉海粟)

*生きる精神を教えてください

悦己悦人 相手も喜び、自分も喜ぶ世の中にする

*「何か」はきっとできる 子どもの頃から父に教えられた中国の言葉



今後の行事予定

- ・11月2日(月) 祝日の週のため休会
- ・11月9日(月) 【通常例会】
クラブ協議会
*11月誕生祝い
*「四つのテスト」唱和 渡辺敬藏会員
*「友」11月号紹介
- ・11月14日(土) 【県北第一分区インターシティ・ミーティング(IM)】
全会員登録となりますので是非ご出席をお願いいたします。
テーマ：「次世代へのメッセージ」
～会員増強・会員基盤・クラブ基盤の向上～
ホスト：福島ロータリークラブ
14:00～14:30 開会セレモニー
14:30～15:20 基調講演
阿久津肇パストガバナー
「ロータリーの来し方を顧み、行く末を見つめて」
15:30～16:30 パネルディスカッション
(各クラブ代表パネリスト登壇)
「5年後のロータリー・5年後のクラブを語ろう」
16:30～16:40 閉会セレモニー
- ・11月16日(月) 【夜間例会】
新蕎麦を食する職場訪問移動夜間例会
会費：4,000円
- ・11月23日(月) 祝日のため休会
- ・11月30日(月) 14日(土)県北第一分区IMに振替休会
- ・11月2日(月) 18:00～11月理事会
18:30～指名委員会＝歴代会長会
(次年度クラブ役員・理事の指名)
19:00～合同懇親会

◇閉会点鐘

黒澤信之会長

●他RC例会場・例会日

クラブ名	曜日	例会場名	クラブ名	曜日	例会場名
福島RC	木曜日	クーラクーリアンテサンパレス	飯坂RC	木曜日	吉川屋
福島南RC	水曜日	クーラクーリアンテサンパレス	福島北RC	火曜日	クーラクーリアンテサンパレス
福島中央RC	水曜日	ザ・セレクトン福島	福島東RC	金曜日	クーラクーリアンテサンパレス
福島21RC	木曜日 18:30～	クーラクーリアンテサンパレス	福島しんたつRC	月曜日 18:30～	福島県青少年会館